

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2023年9月 No.5



まだ暑い日が続きますが、2学期が始まりました。通級生の皆さんは、元気に、充実した夏休みを過ごすことができたでしょうか。2学期も、通級指導教室での学習に意欲的に取り組んで、聞こえについて理解を深めたり、多くの言葉を獲得したりすることを期待しています。

さて、今月号では、7月に小学校6年生の通級生が在籍校で行った難聴理解授業の様子について、以下に紹介します。



通級の授業で、何をどんな方法で在籍校のみんなに伝えたらよいかを話し合い、準備を進めました。パワーポイントのスライドを、字の大きさや色、デザインなどを工夫しながら作成し、動作確認や話す練習をして、本番に備えました。教員の助言も得ながら、何度も作り変えて改善していました。

手話クイズの様子です。手話は、事前に通級生が撮影した動画を再生して見せ、みんなにその手話が何を意味するのかを問いました。身近な生活の中にある言葉なので、興味を持って参加してくれていました。



補聴器に関するクイズもやりました。補聴器に関しては、事後アンケートの中の「知りたいこと」の項に多くの人がコメントを書きこんでいて、関心の高さがうかがわれました。クイズだけでなく、教員主導で講習や補聴器・ロジャーの体験もやりました。

お知らせ ~第2回「通級生の集い」について~

10月14日(土)に、第2回「通級生の集い」を行います。



場所は静岡聴覚特別支援学校で、時間は午前10時~午後2時30分です。

内容は、「はじめの会」、「聴覚特別支援学校の授業に参加(図工・体育等)」、「みんなで遊ぼう」または「先輩の話聞く会」(学年により異なる)、「昼食」、「振り返り」、「終わりの会」です。詳細は、別紙(コクーで送信及びプリント配布)でお知らせします。(※この日は指導日となっています。)

9月のスキルちゃん

子どもたちの聞こえを確認しましょう。

子どもたちの中には、自分の聞こえの変化に気付けない子もいます。そのため、教師が補聴機器の聞こえを確認する習慣をつけることが大切になります。毎日、同じ時間、同じ方法で確認することで、変化に気づけるようにしましょう。

子どもの聞こえの様子を確かめる。

- ・毎日、同じ所から、同じくらいの大きさの声で、同じ言葉（名前など）で呼びかける。
- ・聞こえの変化が感じられる時には、子どもに今の聞こえの状態について質問し、聞こえに対する意識を高めましょう。

☆反応の違いは、必ず、子どもたちにフィードバックしましょう。

ロジャーを使う場合は、補聴器（HA）・人工内耳（CI）のプログラムが切り替わっているか、口元を隠して小さい声で名前を呼んでみるなどして、マイクが正しく作動しているか確認をしましょう。

～発音・発語のポイント～

パ行、バ行は、唇を閉じてから発音する音で**両唇音**と言います。見て分かりやすい発音なので、子どもたちの話す口の動きを見て唇を閉じてから発音してなかったら、閉じるように言葉を掛けたり、やって見せたりしましょう。その時に、パ行は手の甲を口の前に置き、息がかかるか確かめたり、バ行はしっかり声を聞かせたりしましょう。

～言語環境を整えましょう～

「声を出す」ように促しましょう！

子どもが指さしだけで表したとき、子どもたちの言いたいことが分かって、可能な限り、声を出すようにしましょう！

どうして？

聴覚障害は受容障害です。発声を促して、聴覚のフィードバックをさせましょう。聴覚だけでなく、運動を伴うことで、メモリスパンの向上にも役立ちます。

